



令和7年3月定例会

No.  
**106**  
2025.5.20

いいたてどんしま

# 議会だより

発行：福島県飯館村議会  
編集：議会広報編集特別委員会



令和7年4月8日 飯館村立までいの里のこども園第8回入園式

令和7年4月7日 いいたて希望の里学園第6回入学式



|                      |       |
|----------------------|-------|
| 村民アンケート分析結果          | 2～3   |
| 村長に対する問責決議の経過        | 4     |
| 予算審査特別委員会            | 5～6   |
| 議案審議「ザ・議論」           | 7     |
| 審議結果                 | 8～9   |
| 一般質問「ズバリ村政ここが聞きたい!!」 | 10～15 |
| 常任委員会活動報告・議会の動き・編集後記 | 16    |

# 村民アンケート分析結果

## ～村民が議会・議員に求めている8つのこと～

令和6年10月～11月に実施した村民アンケートの回答(問：飯舘村議会及び議員に期待すること、要望すること)をもとに、村民が議会・議員に対して抱いている思いや期待を分析し、以下の8つの視点に整理しました。

### ① 村に根ざした「当事者」としての姿勢

議員は実際に村に住み、日々の暮らしや季節の厳しさを体感しながら政策判断をしてほしい、という声が多くありました。  
居住地や活動実態への疑問は、単なる批判ではなく、「自分たちと同じ目線で判断してほしい」という切実な願いを感じています。

### ② 村民との「対話・傾聴」の仕組みづくり

「話を聴いてもらう機会がない」「選挙のときだけ顔を出す印象」という不満から、日常的な懇談会や聞き取り活動、小会議の開催を望む声が寄せられています。  
住民参加型の政策形成を求める強い意思を感じています。

### ③ 議員活動の「見える化」への要望

「何をしているのか見えない」「報告がない」という声が多く、議員個人や議会としての活動報告、議会だよりの充実、議会中継の活用など、情報公開と透明性が求められていることがわかりました。

### ④ 暮らしに根ざした「実効性ある提案」

物価高騰、医療・買い物・交通の不便といった日常生活の課題に対し、議会として提案力を発揮してほしいという期待が寄せられています。  
「生活者目線」での政策提案が強く求められていると感じています。

### ⑤ 多様な住民を反映する「議員構成」

女性・若者・移住者等の視点が欠けていることへの問題提起が見られました。  
「多様な住民を反映する議会」でこそ議論が深まる」「条例で比率を確保すべき」といった意見もあり、時代に合った議会構成が望まれていると感じています。

### ⑥ 議会の「制度運営や慣習」への疑問

議長の選出方法、定年制の必要性、視察の在り方など、「議会の仕組みそのもの」への疑問や改善要望が複数寄せられています。  
開かれた議会制度・透明性ある運営への意識が高まっていると感じています。

## ⑦ 議員個人の「品位と責任」へのまなざし

「議員風を吹かせている」「住民の声を聞かない」といった厳しい声もありました。

これは、**議員の姿勢・人間性・言動そのもの**が問われていると感じています。

## ⑧ 村の将来像に向けた「共創」への期待

「未来を語り合いたい」「一緒に何かをつくりたい」といった前向きな声も多く、村民自身が議会とともに村づくりに参加したいという希望を感じることができました。

共に考え、行動する「**協働型の議会運営**」への期待だと思えます。

## 今後の取り組み

村民の皆さまから寄せられたご意見を真摯に受け止め、議会として今後の改善に努めてまいります。

議員は、現場の声に耳を傾け、分かりやすく活動をお伝えする努力を重ねます。

また、生活に直結する課題への提案や、女性・若者を含む多様な視点を取り入れた議会運営にも力を注ぎます。

小さな行動の積み重ねを大切に、信頼される議会を目指してまいります。

### 村民アンケート結果を参考とした取り組み報告 一般質問(令和7年3月)

5名の議員が生活に直結する課題への提案等を行いました。

**生活**・・・医療・福祉サービス体制の拡充

**被害**・・・野生動物被害対策の拡充(住居周辺も)

**子育て**・・・少子化対策と子育て支援、賃貸住宅確保対策

**教育**・・・ふるさと学習の継続・充実、子どもへの防災教育

**村政**・・・村全体の村づくりと第7次総合振興計画

**施設**・・・旧白石小学校の有効活用

※詳細については、各議員の報告をご覧ください。

私たち村議会議員は、村民の皆さんの声を大切にし、安心して暮らせる未来と一緒に築いていきたいと考えています。ご意見やご要望等を、ぜひお聞かせください。

議員に直接伝えにくい場合は、議会事務局(0244-42-1628)までご連絡ください。

皆さんから寄せられたご意見は、議員全員で共有し、議会活動を通して村づくりに活かしてまいります。

# 村長に対する問責決議の経過

令和7年2月発行の第105号「議会だより」では、1月臨時議会の速報として「飯舘村長に対する問責決議」を掲載いたしました。これに対し、その経緯についてご意見・ご質問を多数いただきましたので、以下のとおり補足説明いたします。

## 村長問責決議に至った経緯について

### 1. 副村長の突然の辞職(2024年12月 定例会)

2024年12月の定例会最終日、高橋前副村長が任期満了の1週間前に突如辞職され、定例会最終日は急遽欠席となりました。

議会はこの状況を受けて、上程された副村長選任に関する人事議案の「取下げ」を求める対応を取りました。

### 2. 議会による調査

議会は、副村長の辞職の経緯と背景を明らかにするため、まず正副議長が杉岡村長および高橋前副村長に対して聞き取りを行い、その内容を全議員に報告しました。

後日、議会全員協議会において両者から改めて事情を聴取し、それぞれの見解を確認した結果、双方の意思疎通が十分に図られていなかったことが明らかとなりました。これは、村政の円滑な運営に不可欠な協力体制が欠如していたことを示しており、早急に改善すべき問題であるとの結論に至りました。

さらに人事において教育長が1年近く不在のままである教育行政の執行体制や、道の駅の駅長の任命の遅れといった状況も看過できない問題として指摘されました。

### 3. 問責決議案の作成と議決(2025年1月 臨時議会)

上記の聞き取り内容と説明を踏まえ、議会全員協議会にて「意思疎通の不足を反省し、全職員と合意形成が図れる職場環境づくりの推進、再発防止に向けた改善、および信頼回復のための具体的な行動」を求める問責決議案がまとめられました。

この決議案は臨時議会において正式に可決され、議長より村長に問責決議書が手渡されました。これに対し、村長からは「真摯に受け止める」との発言がありました。

### 4. 村長給与の減額を議決(2025年3月 定例会)

問責に関連する責任を明確にするため、村長の給与を「3か月間、10%減額する」とする議案が提出され、可決されました。

佐藤健太委員長

佐藤眞弘副委員長

令和7年度当初予算

# 予算審査特別委員会

一般会計予算は  
111億  
5,500万円

令和7年度当初予算は、予算審査特別委員会を設置し、委員長に佐藤健太議員、副委員長に佐藤眞弘議員を選出、3月7日・11日・12日の3日間一般会計と特別会計を審査いたしました。

一般会計は前年比14・8%減、金額にして19億3,800万円の減となりました。この予算は過去8番目の大きい規模で、7年連続で100億を超える予算となっています。

委員の活発な発言により審査が行われ、新年度予算は賛成多数で可決、4つの特別会計と、2つの公営企業会計は全会一致で可決・決定されました。

## 予算の推移について

質問 令和7年度の一般会計が111億円で、100億円を超える予算が続いているが、今後の推移見込みを伺う

答弁 100億円越えが7年連続で、令和7年度は史上8番目です。ほとんどが村の持ち出しがない復興復旧予算であります。

今後復興を進める中で必要がなくなる事業と継続すべき事業を見据えて予算化を進めてまいります。

## 債務負担行為の限度額表記について

質問 債務負担行為の表記において限度額と

いうことで「農林漁業」「いいたて道の駅」「村民の森」について限度額も同じと書いてあるが限度額の算出される内容はなにか。

答弁 基本的にはその施設の貸付あるいは契約を行う際に、村が行う公的な部分を担っていただくことがありま

すので施設の運営にかかる経費については、積み上げ方式で算定しています。

## みがきあげよう！ふるさと補助金について

質問 「までいな心の復興」地域の魅力向上

につながる行政主体の取り組みの支援で200万円増額されているが、どんな取り組みがされているか伺う。

答弁 すべての行政区で取り組み計画が出されており、200万円が3件、それから150万円が5件というこの見込みで予算措置させていただきます。

## 移住定住促進ツアアの経費について

質問 移住定住促進ツアアの予算500万につ

いて伺う。

答弁 一人当たり50万円、一回500万円程度になります。

このツアーを通して村に移住する・定住するとということにつなげていきたい。

## 大阪万博展示について

質問 大阪万博の展示

事業は業者の費用を支援する形なのか村としてはどのように関わって展示していくのか伺う。

答弁 5月18日から5月25日までの期間「福島復興企画基本コンセプト」ということで、福島県の復興を大阪万博でPRする、アピールする目的でそういう

枠が設けられたということでございます。



## 地域おこし協力隊支援について

質問 交流・移住・定住促進業務の中で、地

域おこし協力隊支援の内容を伺う。

答弁 地域おこし協力隊は、自分の起業の為や、企業型の隊員として企業の中で業務を行っている隊員もあり、隊員の日頃の疑問点や問題点の解決、事業展開について等の相談を行っています。

## 学校給食調理業務委託について

質問 令和6年度から学校給食を業務委託し

たことによる成果について伺う。

**答弁** 業務委託していることで、調理員の補充については事業者が行う事で安定した供給が出来るようになっております。

**宿泊体験館「きこり」レストラン再開について**

**質問** レストランの再開について、いつからどのような食事の提供ができるのか伺う。

**答弁** 現在調理員を募集している段階で、調理員が雇用されてから準備等で2〜3カ月時間がかかる見込みです。また、現在軽食を提供している「やまぼろし」についても、しっかりととした食事提供ができるようになった後でも継続して行っていく計画です。



▶ 宿泊体験館きこり

**スポーツ公園屋内コート火災感知器更新工事について**

**質問** スポーツ公園屋内コート火災感知器更新工事の内容について伺う。

**答弁** スポーツ公園屋内テナイスコートの屋上部に設置してある火災感知器の更新であります。現在の光電式という火災の光に反応する機器に誤作動が起きる中で、機器を赤外線式に更新すること

で、火災の際に十分対応できるように消防と相談し更新するものです。



▶ 屋内テナイスコート

**道路の維持管理について**

**質問** 道路の維持補修業務で補修をするための要件などについて伺う。

**答弁** 道路の路肩・路面について交通に支障となるような場合に安全を確保するための補修となります。現場を確認のうえ判断し補修してまいります。

**生活支援ワゴン運行事業・村外介護サービス等送迎事業について**

**質問** 生活支援ワゴン運行事業・村外介護サービス等送迎事業については多くの村民が利用しており大変助かっているが、国の予算措置は令和8年以降も続くのか伺う。

**答弁** 高齢者や交通の確保が困難な方は全体的に多いため、引き続き実施できるような体制を維持していく必要があると考えますので、財源が不確定な部分はありませんが、積極的に国に要求してまいります。



令和7年度各会計の当初予算額と採決状況

| 会計名              | 当初予算額       | 前年比(%) | 採決の状況   |
|------------------|-------------|--------|---------|
| 一般会計             | 111億5,500万円 | ▲14.8  | 賛成多数で可決 |
| 国民健康保険特別会計       | 7億9,347万円   | 4.9    | 全員賛成で可決 |
| 介護保険特別会計(事業勘定)   | 10億5,984万円  | 1.7    | 〃       |
| 介護保険特別会計(サービス勘定) | 690万円       | 9.4    | 〃       |
| 後期高齢者医療特別会計      | 8,302万円     | 8.5    | 〃       |
| 簡易水道事業特別会計       | 2億2,930万円   | ▲14.0  | 〃       |
| 農業集落排水事業特別会計     | 9,681万円     | ▲5.0   | 〃       |
| 合計               | 134億2,434万円 | ▲12.8  |         |

# ザ・議論

1月(第1回臨時会・第2回臨時会)  
3月(第3回)定例会では、  
次のような議論が交わされました。  
その議論の一部を紹介します。

## 議案審議

### 物価高騰対策重点 支援給付金(C52)

**質問** 物価高騰対策応援商品券について、今度の商業施設が8月前には、オープンするとの理由から、8月ということに期限を区切られているのか何う。

**答弁** 飯館のほうにできるだけ足を運んでいただく機会に使っていただきたいと考えています。

そのために連休、あるいは、お盆の帰省の時期、そういった部分まで使えるようにする必要があるので、8月いっぱいまではということが残したところであります。

### 商業施設整備工事 請負契約の変更に C52

**質問** 今回の変更工事

よって工期の延長があり得るのかどうか。村民のほうから、だんだん建屋が完成するにつれて期待感が大きい反面、よく聞かれるのが、いつ完成して、いつから営業を開始するのかというのが村民のほうから聞かれているため、今後の予定を何う。

**答弁** 商業施設整備工事につきましては、3月いっぱい、年度内完成ということですので今進めております。今のところ、若干そういった部分での変動はありますが、しっかりと工期内に収まるように完成の見込みとなっているところであります。

できるだけ早くオープンしたいということですが、1か月程度、もしくは1か月以上かかる場合もあるということ、準備に

は時間がかかるようであり。連休明けのオープンが出来ればと考えておりますが、できるだけ早い時期に皆さんに利用していただくように努めたいというお話を伺っているところです。



▶オープンが待ち遠しい  
商業施設

### ため池放射性物質 対策工事(C52)

**質問** ため池放射性物質対策工事について、今回2万7千ベクレルといことであるが、工事が終われば8千ベクレル以下になるとい

ことなのか。

**答弁** 掘削の深さも想定をしまして、設計の深さまで掘削しましたら、そこでまた計測をしまして、8千ベクレル以下になっていないかどうかの確認をしてみたいです。

もし8千ベクレルよりあれば、あと何センチ掘削すればよいかという部分を確認しながら、またさらにそこまで掘削をして、最終的に8千ベクレル以下を確認してそこが終わるということ、工事のほうを進めてまいります。

### 令和7年度飯館村 一般会計予算につ いて

**討論** 令和7年度飯館村一般会計予算について反対討論をいたします。

費用対効果の面から次の2つの委託事業(①

移住定住促進ツアー等企画運営業務(②飯館魅力向上発信事業)について、事業内容の再検討が必要であると思ひ、質問と再検討を提案しましたが、大幅な変更はないとの回答でしたので反対します。

**討論** 令和7年度飯館村一般会計予算について賛成の立場で討論をいたします。

令和7年度は、予算編成に当たっては、今後、第2期復興創生期間終了後をしっかりと見据え、継続する事業、縮小、廃止する事業、または委託する事業と、財政運営の観点からも評価できる編成となっておりますので、賛成します。



# 審議結果

令和7年第1回（1月）臨時会では人事案件1件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

- 議案第 1号 副村長の選任について  
中川 喜昭氏(宮内)令和7年1月8日から令和11年1月7日まで

令和7年第2回（1月）臨時会では予算案件1件、人事案件1件、その他案件5件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました

- 議案第 2号 令和6年度飯館村一般会計補正予算(第8号)  
既定予算総額に7,527万3千円を増額し、歳入歳出予算の総額を143億9,046万3千円とする。
- 議案第 3号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(笹ノ沢第1ため池)請負契約の変更について
- 議案第 4号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(鳶巣ため池)請負契約の変更について
- 議案第 5号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(名ノ入ため池)請負契約の変更について
- 議案第 6号 営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1)農業用排水路施設等補修工事(笹峠第2ため池)請負契約の変更について
- 議案第 7号 商業施設整備工事請負契約の変更について
- 議案第 8号 飯館村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて  
高橋 澄子氏(飯樋町)令和7年1月30日から令和7年3月31日まで

令和7年第3回（3月）定例会では予算案件12件、条例案件10件、その他案件6件、人事案件3件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

- 議案第 9号 令和6年度飯館村一般会計補正予算(第9号)  
既定予算総額から10億7,241万2千円を減額し、総額を133億1,805万1千円とする。
- 議案第10号 令和6年度飯館村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)  
議案10号から議案14号までは、各特別会計の年度末の予算整理、及び2つの企業会計にかかる年度末の予算整理に伴う補正予算
- 議案第11号 令和6年度飯館村介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 議案第12号 令和6年度飯館村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 議案第13号 令和6年度飯館村簡易水道事業会計補正予算(第3号)
- 議案第14号 令和6年度飯館村農業集落排水事業会計補正予算(第3号)

- 議案第15号 令和7年度飯舘村一般会計予算  
歳入歳出の予算総額を111億5,500万円とする。
- 議案第16号 令和7年度飯舘村国民健康保険特別会計予算  
歳入歳出総額を7億9,347万3千円とする。
- 議案第17号 令和7年度飯舘村介護保険特別会計予算  
事業勘定の歳入歳出予算総額を10億5,983万8千円、介護サービス事業勘定の総額を689万6千円とする。
- 議案第18号 令和7年度飯舘村後期高齢者医療特別会計予算  
歳入歳出予算の総額を、8,302万2千円とする。
- 議案第19号 令和7年度飯舘村簡易水道事業会計予算  
収入および支出それぞれ2億2,929万円7千円とする。
- 議案第20号 令和7年度飯舘村農業集落排水事業会計予算  
収入および支出それぞれ9,680万5千円とする。
- 議案第21号 飯舘村農業施設等維持管理基金条例
- 議案第22号 飯舘村商業施設設置条例
- 議案第23号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 議案第24号 飯舘村税条例の一部を改正する条例
- 議案第25号 飯舘村使用料条例等の一部を改正する条例
- 議案第26号 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 議案第27号 飯舘村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第28号 飯舘村水道条例の一部を改正する条例
- 議案第29号 飯舘村農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例
- 議案第30号 農業基盤整備促進事業(飯舘西部その2)農業基盤整備工事(水路工)前田・八和木地区第11回工事請負契約の変更について
- 議案第31号 佐須辺地に係る総合整備計画の策定について
- 議案第32号 比曽・岩部辺地に係る総合整備計画の策定について
- 議案第33号 メモリアルホールいいたての指定管理者の指定について
- 議案第34号 南相馬市飯舘村心身障害児就学指導に関する事務の事務委託に関する規約の一部を変更する規約
- 議案第35号 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第36号 商業施設売場用商品棚購入契約の変更について
- 議案第37号 飯舘村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて  
高橋 澄子氏(飯樋町)令和7年4月1日から令和10年3月31日まで
- 議案第38号 監査委員の選任につき同意を求めることについて  
松田 敏行氏(深谷)令和7年4月1日から令和11年3月31日まで
- 議案第39号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて  
林 英滋氏(白石)令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

# ズバリ 村政

ここが  
ききたい!!

## 一般質問 Q&A

3月定例議会の一般質問には5議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載しています。

ページの都合上、全ての議論を載せることはできません。ホームページには、本議会の会議録を掲載しているほか、各議員のページのQRコードを読み取ると、一般質問の配信動画を見ることができます。併せてぜひご覧ください。

※ご利用の際、インターネット等の通信料は個人負担となります。

※配信動画の視聴にあたり、ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

**飯畑秀夫 議員** P14

- 1 これからの村政運営について
- 2 教育振興について
- 3 少子化問題について
- 4 福島第一原子力発電所事故の影響と課題について
- 5 住居確保と対策について
- 6 再生可能エネルギーについて

**佐藤眞弘 議員** P13

- 1 令和年度の希望の里学園の教育方針について
- 2 飯館村での無縁遺体に対する対応について

**佐藤八郎 議員** P12

- 1 基本政策の重点事項について
- 2 産業団地計画について
- 3 食品の安全基準について
- 4 飯館みらい発電所について
- 5 国・県の動向・施策について
- 6 村全体の村づくりについて

**花井 茂 議員** P11

- 1 旧臼石小学校の有効利用について
- 2 村民の森あいの沢の活性化について
- 3 ガバメントクラウドへの移行について
- 4 ICT教育の現状について

**横山秀人 議員** P15

- 1 杉岡村長に対する問責決議について
- 2 村民が安心して暮らせる医療・福祉サービス体制の拡充について
- 3 医療費負担の減免期間延長について
- 4 サル・イノシシなどの野生動物被害防止策の拡充について
- 5 心のケアと孤立対策について
- 6 東京電力ホールディングスへの賠償請求手続きについて

### ※一般質問とは

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針案等について、村の執行機関などの見解や取り組みについて質問し、提案・誘導していく政策議論です。





花井 茂 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 現在、旧白石小学校に入居している企業との契約が終了と承知しているが今後について伺う

**答** 現在、入居事業者との協議を行なっているところですが、今は地域の活性化や関係・交流人口の増加また雇用の創出など様々な成果・効果を見込んだ幅広い検討を進めてまいります

**質問** 旧白石小学校を再利用していく場合に、施設が行政財産から普通財産へ変更されてはいるが、教育施設であるために民間等に貸出しをする場合に制約があるのか伺う。

**答** 文教施設ということで行政財産でありましたが、貸付にあたり普通財産に変更はしていますが、文科省の補助金で建設した施設でありますので、一般財産にしたのだからと

「村民の森あいの沢」の活性化について



▲白石小学校

いつて利用料等の設定や利用の部分について自由にできるのかというところ、そういうことにはならないのかなと考えております。利活用にあたっては、他の自治体の活用例を見ますと、直売所や地域コミュニティのための飲食店またワークスペース（複数の利用者が同じ空間で作業を行う共有スペース）であったり企業誘致の場所であったり利活用が多いうえに、村の活性化に資する利活用を検討してまいります。

**質問** 「村民の森あいの沢」の賑わい創出のための「基本構想」が策定されているが進捗状況について伺う。

**答** 令和4年度に実施致しました「あいの沢」の活性化に向けた調査業務及び「あいの沢」整備基本構想策定の後に、財源確保のため補助事業等を模索し国に対し申請を試みましたが、観光・交流事業について認められず採択に至りませんでした。その後、「福島県未来を創る市町村等支援事業」による整備が可能であることが分かり5カ年計画での申請を行い、計画が採択されるところであります。

ガバメントクラウドへの移行について

**質問** 「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」が施行されたことに伴い、

2025年度末までに住民基本台帳や税務など基幹業務について標準化したシステムへの移行が義務付けられているが、本村の現況について伺う。

**答** 本村では2023年度から住民基本台帳等の各基幹業務について、政府が示す標準準拠システムへの移行準備作業を進めており、各基幹業務システムと標準準拠システムの差異調査・分析が終了しており、本村での本格稼働時期は2026年1月末を予定しています。また政府が示すシステム標準化20業務のうち、本村で該当する18業務全てのシステムを標準準拠システムに移行することとしております。

ICT教育の現状について

**質問** ICT教育が進

む中で、思考力や読み書きの能力低下が懸念の一つとされているが、いいたて希望の里学園の状況と課題を伺う。

**答** 国によりGIGAスクール構想が提唱され、学校へのタブレット導入が進み、村でも令和2年度には全児童生徒へタブレットを配布し、コロナ禍時にはオンライン授業を配信し学校に対応すると共に、学校ではICTを活用した授業を通して協働的かつ個別最適な学びを推進してまいりました。一方で、ICT活用と読み書きの能力とのバランスを取ることの大事さも分かって来ており、アナログにこだわって声を出しノートに書く作業を通じて表現力を高めるなど、ねらいに応じて最善の手段を講じてまいります。



佐藤 八郎 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 雇用の場、仕事づくりに  
ついて伺う

**答** 企業誘致の他、農業・商工業  
支援などを行い多様な働く場  
づくりを進めます

**質問** 本年度における  
基本的な政策として、  
村民の仕事の再生推進  
としての、雇用の場・  
仕事づくりと、村への  
定住者を増やすための  
施策を伺う。

**答弁** 雇用の創出とし  
て企業誘致を進め、農  
業支援・商工業者支援  
事業により振興を進め  
ます。

また、村内での生業

**答弁** 空き家バンクに  
よる空き家紹介、住宅  
を新築したり空き家購  
入・修繕する場合の費  
用の一部を補助する補  
助金交付事業を行いま  
す。

関わり事業の子育て  
支援や住宅整備などの  
取り組みも重視してま  
いります。

**道路のインフラ整  
備について**

**質問** 村として他市町  
村や県との関わり、人々  
との交流と村民の生活  
の中で、不便改善の観  
点からも国道399号  
線の改良・整備、高速  
道路からのアクセス道  
路の整備への計画と具  
体的な見通しを伺う。

**答弁** 国道399号線  
の整備及び東北中央自  
動車道の霊山・飯館イ  
ンターへのアクセス道路  
については、相馬地方市  
町村会や福島県町村会  
のほか、国道399号線

改良整備促進期成同盟  
会や国道399号線あ  
ぶくまロマンチック街道  
沿線自治体連絡協議会  
を通して要望しており、  
整備の必要性・重要性  
を訴えています。

インターへのアクセス  
道路では、伊達市とも  
連携を確認し、要望し  
てまいります。

福島県相双建設事務  
所では、399号線と主  
要地方道路浪江・国見  
線について、望ましい道  
路の在り方について検討  
するための、県としての  
基礎資料を作成中であ  
ることです。



▲国道399号線(長泥)

**村民の福祉向上の  
施策は重要**

**質問** 想定外の原発事  
故が起こされてから14  
年の流れの中での生活  
であり、事故前のような  
なコミュニティのある  
暮らしには程遠い生活  
となっている。

「命と健康」の面から、  
元気で長生きできるよ  
うな福祉政策について、  
これまでの事業に加え  
て、介護事業への対応  
の施策を伺う。



介護について、特別  
養護老人ホームでの施  
設介護や村外の事業所  
により対応していますが、  
村内事業者によつ  
て実施できないか、関  
係機関と協議し、デイ  
サービスや訪問介護の  
実施に向け準備を進め  
てまいります。

**国・県の動きと私  
たちの生活は**

**質問** 再生加速化交付  
金・復興財源の確保に  
ついて県町村会などの  
関係機関と要望する中  
で、村として国・県の  
動向をどう分析し対応  
するのかを伺う。

**答弁** 現地からして認  
識不足もありますので、  
安心感を持っていただ  
き、中長期的に復興で  
きるよう国に対して要  
望してまいります。



佐藤 眞弘 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 令和7年度の希望の里学校の教育方針について

**答** 学校教育ブランドデザインの中で、重点目標を「しなやかな心、しなやかな思考と行動力の育成」「すくすくと伸びる学力、すくすくと成長する健全な心身の育成」「しっかりと根を張る自立心、まっすぐな心での仲間や地域との共生」としています

**質問** 義務教育9年間を活かした施策をどのように展開するのか伺う。

**答** 重点施策として、「前期課程からの教科担任制の推進」や「前期・後期課程の相互乗り入れ指導」、「『いいたて学』における地域に根ざした系統的・体系的なふるさと教育の充実」など、義務教育学校のメリットを生かした教育の推進を挙げ、小中9年間の教育を効果的に

進めつつ、本村ならではの教育を行ってまいります。

**質問** 重点目標を定め、重点施策をどのように進めるのか伺う。

**答** 教育施策として5点の教育施策を指示しています。1点目は算数・数学の充実、2点目はICT機器の活用、3点目は読書活動の推進、4点目は「いいたて学」の発展、5点目は教員研修です。これらの施策を進めることで、村の特色を生かした教育活動を行ってまいります。

**質問** ふるさと学習をどのように進めるのか、具体策を伺う。

**答** 「『いいたて学』を中心とする」と飯館村について学習しています。1・2年生は「体験・探検」、3年生は「食文化」、4年生は「産業」、5年生は「農業」、6年生が「伝統文化」といっ

た具合になります。後期課程では7年生が「飯館村の過去」、8年生が「飯館村の現在」、9年生が「飯館村の未来」をテーマとして、各学年の学習内容が重複せず、かつ系統性を確保しながら計画を立てています。地域支援コーディネーターを始めとする村民の方々を講師としてお招きしたり、福島大学の特任教授を外部講師として招聘したりしながら、村との関りを重視しつつ探究的な学習になるように配慮しています。



▶いいたて学  
みそづくりの様子

**質** 飯館村での無縁遺体に対する対応について

**答** 関係機関と連携し、戸籍及び親族調査をはじめ法令に沿って対応してまいります

**質問** いわゆる「孤独死」等、身寄りのないなど死後に引き取り手のない「無縁遺体」が発生した場合、村はどのように対応するのか伺う。

**答** 身寄りがいないなど死後に引き取り手がない「無縁遺体」は、墓地埋葬法などに基づ

き、自治体が埋・火葬するとされております。近年の高齢化や核家族化などにより、この「無縁遺体」が全国的に増加傾向とのことで、国では、統一的な指針やマニュアルの策定について検討するとしております。



▶いいたて学  
ホーリーバジルの説明の様子



▶いいたて学  
こども議会での成果発表



飯畑 秀夫 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 当村の教育について教育長に問う

**答** 本村でも、特別な支援を要する児童生徒は増えており、それぞれの障害に応じた支援を行いながら、少人数教育の特徴を生かし、全ての児童生徒に最適な学びを提供できるようにしています

**質問** スクールバス運行状況及び安全対策を伺う。

**答弁** スクールバスは村所有の9台と民間事業者のバスを利用し、児童生徒の1時間以内の通園・通学を目指し運行を行っております。こども園の園児は3歳以上から利用可能であ

り、全園児・全児童生徒数114名に対し、現在78名の利用があります。安全面では、令和5年12月に飯館村スクールバス運行マニュアルを策定し、全てのバスには置き去り防止装置が設置されており、助手の配置とともに十分な安全対策を講じております。

**質問** バスの置き去り防止装置とは？

**答弁** バスのエンジン

を切った段階で、一番後方のところにスイッチがついておりまして、そこまで運転士もしくは助手が行かないと、そのブザーを切れない装置になっておりますので、行く際に必ず子供たちがいる、残っていないかを確認するというのが1点目。もう1点目は、万が一置き去り、子供たちを残してしまった場合、センサーのマットが2枚ほどついておりまして、子供がそれを踏むと車内のクラクションがずっと鳴り続けます。



▲バス置き去り防止センサーマット

**福島第一原発電所事故の影響と課題について**

**質問** 村内で伐採した木材を、薪ストーブ及び炭等に加工して使用したいという声があるが、行政の見解を伺う。

**答弁** 村では、令和元年度から令和3年度まで、山林資源活用実証事業を実施した結果、木炭では540から1万4千ベクレルパーキログラム、菌床シイタケでは135から1千800ベクレルパーキログラムと、放射性物質の基準値を大きく超える数値が計測されたことから、村内産木材を使用した木炭使用は当面難しいとの結果が報告されているところですが、

村といたしましては燃焼させ、灰にすることで中に含まれる放射性物質が濃縮されるおそれがある村内産木材

の一般家庭での利用につきましましては、お控えいただくよう周知してまいります。

**再生可能エネルギーについて**

**質問** 当村の南側の風力発電計画について、

村民から不安だという声があるが、風力発電及び大規模太陽光発電について行政の考えを伺う。

**答弁** 村行政では、事業者の考えや住民の意見を十分に聞きながら、住民福祉の向上に資する再生可能エネルギーの取組であるかどうかを見極めていくこととしております。

**質問** 村民に説明会を開き、メリット・デメリット、環境破壊の可能性等、村民にきちんと説明すべきと思うが、村長の考えを伺う。

**答弁** 村が主体となつて、公平な立場とい

ますか、ある程度事業者さんのほうから提示されているもの、今後の構想等についても聞き取りをするような、住民の方々が一緒になつていろいろな意見が言えるような、そんな場を設けられたらと考えています。

風力発電の現場について、地域共生という形でやっていると、限られた場所しかないかのように聞いておりますので、そういった場所も含めて、研修の機会というものも設けていきたいと考えております。



▲長泥展望広場から見た葛尾村の風車



横山 秀人 議員

動画視聴はこちらから



**質問** 猿やイノシシの被害が深刻化し、農業や生活に支障をきたしている。村民アンケートでも、鳥獣被害の現状と対策を求める声がありました。住宅周辺にも被害が広がり、帰村意欲低下にもつながっている。自宅周辺の電気柵整備など、生活圏への支援拡大を求める。



▲サル捕獲用大型わな

イメッシュ設置、捕獲活動、森林整備等を実施中です。自宅周辺への柵設置は現行制度では困難ですが、合理的

**質** 野生動物被害対策のさらなる拡充を！  
**答** 生態調査を進め、効果的な対策を図ります

な設置方法の検討は可能ですので、生態調査を進め、効果的な対策を図ってまいります。

年度別捕獲頭数

| 捕獲年度  | サル  | イノシシ |
|-------|-----|------|
| 令和6年度 | 135 | 186  |
| 令和5年度 | 155 | 151  |
| 令和4年度 | 96  | 80   |

**質問** 村民アンケートでは「通院が困難」「介護体制に不安」との声が多い。住み慣れた地域で暮らし続けるために、診療体制・訪問介護・送迎体制の強化が求められている。村の方針を問う。

**答弁** 医師・看護師確保は継続要請中ですが、

**心のケア・孤立対策の周知と強化が必要**

**質問** 村民アンケートでは「人と会う機会がない」「相談先がわからない」との声があり、支援の届きづらさが課題。住民団体との連携や相談先の再周知が必要では。

**答弁** 村社協等による支援体制はありますが、今後さらに広報を工夫し、住民団体との連携も含めて相談の場や交流機会を充実させてまいりたいと考えています。

**村長への問責決議**

**質問** 副村長が任期満了を前に辞任した件を受けて、議会は村政の緊急事態と判断し、全会一致で村長への問責決議を可決。しかし、

**答弁** これまで議会や職員には説明してきました。今後は議会の議論等を踏まえ、村民への伝え方も検討したいと考えています。誠意ある行動を重ねて信頼回復に努めてまいります。

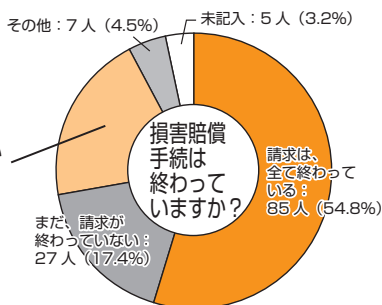
**東電への賠償請求の支援体制強化が必要**

**質問** 村民アンケートでは、東電賠償について「すべて請求したのかわからない」との回

答が約2割。不安や制度への理解不足が原因と考えられ、村による中間支援や分かりやすい周知が必要ではないか。  
**答弁** 村が個別請求には関与できませんが、原子力損害賠償支援機構のチェックリスト付きチラシ等を今後も広報に同封し、周知を強化してまいります。

村民アンケート結果

すべて請求したのかわからない：31人 (20.0%)



# 議会の主な動き(1～3月)

## 《1月》

7日

- ・議会運営委員会
- ・全員協議会

・第1回臨時会本会議

23日

- ・全員協議会

29日

- ・議会運営委員会
- ・全員協議会

・第2回臨時会本会議

## 《2月》

18日

- ・総務文教常任委員会  
(所管事務調査)

21日

- ・議会運営委員会
- ・産業厚生常任委員会  
(所管事務調査)

28日

- ・全員協議会
- ・第3回定例会本会議
- ・各常任委員会

## 《3月》

3日

- ・第3回定例会

(一般質問)

4日

- ・第3回定例会

(一般質問)

- ・全員協議会

7日

- ・予算審査特別委員会  
(個別説明)

11日

- ・予算審査特別委員会  
(総括質疑)

12日

- ・予算審査特別委員会  
(総括質疑)

14日

- ・議会運営委員会
- ・全員協議会
- ・第3回定例会議案審議・閉会

- ・広報編集特別委員会

### 常任委員会の活動

#### 総務文教常任委員会

#### 調査事項

- ・村内における犯罪の発生状況及び防犯対策について。

#### ●調査事項

- ・令和6年12月末時点での刑法犯発生件数は飯館村では28件となっている。内容は倉庫荒らしの侵入盗・鉄板・グレーチング・車上狙い・軒下からの肥料窃取の非侵入盗となっている。防犯対策は防犯指導隊・ウルトラ警備隊・南警察署のパトロールの他、防犯カメラ・有害鳥獣対策実施隊等の協力である。

#### ●所見

- ・村の防犯対策は広く実施できている。今後は村内の関係団体との連携・協議の場を持ち、協議や防犯意識の共有を図るべきである。犯罪発生状況や交通事故は具体的な事例を含めて発信するべきである。

#### ●総務文教常任委員会



#### 産業文教常任委員会

#### ●調査事項

- ・風力発電事業について川俣町議会副議長と他2名を招き町と議会の取り組みについて伺った。

#### ●調査事項

- ・低周波音による騒音等の健康への影響については、現状では風力発電事業との因果関係は証明できていない。講師の見解としては、風力発電はメリット・デメリット

トだけでは判断が難しい事業である。

#### ●所見

- ・今後、風力発電事業を検討する上で大変参考になった。議会では早急に風力発電事業についての視察研修を実施し、議会としての意見を取りまとめる。村においては村主催による住民並びに職員向けの風力発電事業に関する勉強会を実施すべきである。

#### ●産業厚生常任委員会



## 編集後記

いつもの事ながら自分の担当ページの編集作業はパソコンと原稿を目を細め老眼との戦いが続きましたが、無事に発行できホッとしています。今号では令和7年度の予算等など皆様の生活に深く関わる重要な決定について、その背景や議論の内容を知って頂く一助となれば幸いです。

#### 発行責任者

議長 高橋 孝雄

#### 編集

#### 広報編集特別委員会

- 委員長 佐藤 健太
- 副委員長 佐藤 真弘
- 委員 佐藤 一郎
- 横山 秀人
- 花井 茂
- 飯畑 秀夫